

[入選]

## つくばどろんこ保育園

本施設は開発者らしいエリアから少し離れた古い集落のはずれに建つ民設民営の認可保育園(定員90名)です。近隣集落には、余裕のある敷地の中に勾配屋根の家屋が散在し、うそうとした雑木林や芝生の圃場に隣接する恵まれた立地です。

園舎は在来木造平屋建てで、外壁は黒く着色した杉板張りです。芝張りの起伏のある園庭に面して、2年ごとに区切られた3つの保育室を、園児たちの日々の生活の中心となる奥行きのある縁側をはさん

で、ゆるく雁行させつつ並べています。この雁行により保健室に不整形で凹凸のある壁面や脇スペースを発生させ、また部屋の中央にあえて柱を残し、園児たちが思いのままに「自分の居場所」を得られるような変化のある環境を目指しました。

また、軒先を低く抑えた切妻屋根が雁行する外観は、隣接する集落とのスケールの調和を意図している

- スタジオ アノード一級建築士事務所  
住所：埼玉県朝霞市町3-28-47 電話：048-299-7253
- 協力事務所 構造：大賀建築構造事務所 電気／株式会社 サンコー技研 機械／エム・エム・プランニング
- 建物所在地：茨城県つくば市下平塚845-1 ●建物用途：認可保育所  
●構造：木造 ●建築面積／744.42m<sup>2</sup> ●延床面積／693.41m<sup>2</sup>



## [リフォーム賞] つくば市H邸

### 堂々とした風格を継承しつつ 自然素材を用いた安全で快適な住居へ



改修前の写真

つくば市内の旧集落に建つ築200年を超える古民家の再生計画である。先代からこの家を引継いだ現当主である施主は、生まれ育ったこの家の堂々とした風格を継承しつつ、自然素材を用いた安全で快適な住居への改修を望んだ。事前調査では、茅葺屋根を支える丸太の小屋組みをはじめ、大黒柱やその地域特有のお釜柱など主要部材は、十分再利用可能と判断された。そこで、丸太梁の上に新たに小屋組みを架け、以前と同じ七寸勾配と深

い軒を有する軽量の金属葺屋根として、これに最新の耐震工法を組み合わせることで、大屋根の持つ風格を継承し安全性を確保した。生活様式に合わせ30坪減築したが、地域の集まりにも用いる二間続きの居室は再現し、建具も極力再利用した。かつての玄関位置を一間半移動し、玄関ホールとLDKとして再生した。力強い丸太梁を現じだし、杉無垢の床、珪藻土塗りの壁天井など自然素材を用いて仕上げ、新たな生活の中心となった。

- アーネストアーキテクツ株式会社 住所：東京都港区芝5-5-1 ラウンドクロス三田2階 電話：03-3769-4700
- 協力事務所 構造：株式会社 テラ設計工房 電気／有限会社 ゆうでん 機械／有限会社 設備プラン
- 建物所在地：茨城県行方市新宮745 ●建物用途：事務所 ●構造：鉄骨造 ●建築面積／401.39m<sup>2</sup> ●延床面積／821.53m<sup>2</sup>

## [省エネ賞] OFFICE F

### 環境への配慮と最先端の技術の導入した社屋

政府倡導のZEB（ネットエネルギーゼロビルディング）達成に取組み、BELS評価による削減率10.8%を達成した社屋建替えのプロジェクトである。企業として環境に配慮するという社会的使命、最先端の技術の導入を図った。

省エネには外皮を少なくする性能があり、環境の良質が良策であるが、働く環境の良質化を図る為北浦に面する恵まれた環境を生かし大きくガラス面開放している。また内部仕切りも積



## [入選] 水戸市医師会看護専門学校

- 株式会社 三上建築事務所 住所：茨城県水戸市大町3丁目4番36号 電話：029-224-0606
- 協力事務所 電気／前川プランニング 機械／NSAファシリティーデザイン室
- 建物所在地：茨城県水戸市河和田町107番2 ●建物用途：専修学校 ●構造：鉄筋コンクリート一部鉄骨造 ●建築面積／1,996.86m<sup>2</sup> ●延床面積／3,143.85m<sup>2</sup>



### 「うるおいあるキャンパス」としての環境整備

中庭を中心とした、人間性豊かなキャンバス

看護学校とは医療に関する知識と看護の技術を学び、看護師として患者に対するやさしさとともに人間の尊厳を学ぶ場所です。知識・技術を習得する学校としての機能の充足を図るとともに、人間的な感性や心を豊かにする「うるおいあるキャンバス」としての環境整備を目指しました。

建物は、学生たちの人格形成と感受性を豊かにするうえで最も重要な友人や先生たちとのふれあいを創出するための中庭を開む2階建ての校舎として有効に活用しています。

### 既存校舎を使用しながらの工事計画

既存校舎を使用しながらの工事計画の一環工事では敷地内の既存校舎を解体し、二期工事で東棟と訪問看護ステーションを建設しました。仮設校舎を建てないことでコスト削減を図り、既存校舎解体跡地は中庭として有効に活用しています。